

令和 6 年度

自己点検・自己評価報告書

令和 7 年 4 月

富山市立看護専門学校

令和6年度自己点検・自己評価について

本校では、厚生労働省の「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づいて自己評価に取り組み、教職員が本校の理念、目標に照らして自らの教育活動を評価し、改善することによって、看護教育の質の補償・向上に組織的に取り組んでまいりました。さらなる看護教育の充実を図ることを目的として、今年度も自己点検・自己評価を行うとともに、学校関係者による第三者評価を実施いたします。

対象期間：令和6年4月～令和7年3月

自己点検・自己評価委員：

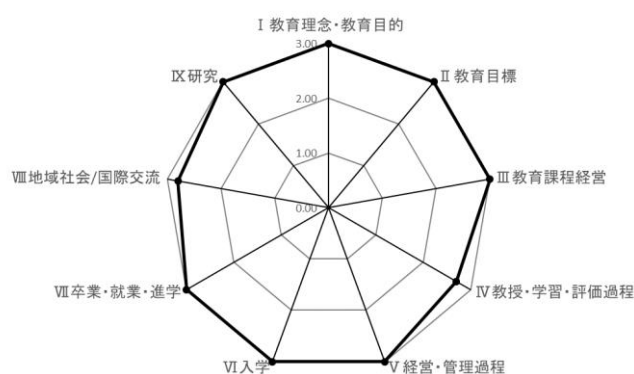
委員長	山野 潤 校長		
委員	越村 真 事務長	神保浩子 副校長	坂中善恵 主幹
	多喜早苗 主幹	竹内圭子 副主幹	井上くるみ 副主幹

実施方法

厚生労働省「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」のカテゴリーⅠ～Ⅸの各点検項目に沿って評価を実施しました。評価は、3：あてはまる 2：ややあてはまる 1：あてはまらないの3段階で実施し点数化しています。

【令和6年度 自己評価結果】

カテゴリー	平均点
Ⅰ 教育理念・教育目的	3.0
Ⅱ 教育目標	3.0
Ⅲ 教育課程経営	3.0
Ⅳ 教授・学習・評価過程	2.6
Ⅴ 経営・管理過程	3.0
Ⅵ 入学	3.0
Ⅶ 卒業・就業・進学	3.0
Ⅷ 地域社会/国際交流	2.8
Ⅸ 研究	3.0



カテゴリーⅠ 教育理念・教育目的

	評価項目	評価点	自己評価
1	教育理念・教育目的は自養成所の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性があるか	3	H21 年の第 4 次および R4 年の第 5 次カリキュラム改正時に、厚生労働省より許可を受けて現行の教育理念・教育目的のもとで学校運営を行っている。 学生へは、学生便覧および、入学時オリエンテーションで本校の概要とともに説明し周知している。加えてホームルーム等でも必要時説明を行っている。 今年度より、学生便覧を用いた修学への意識づけの時間（ホームルーム）を 3 年間合計 12 回設けている。1 年次は 7 回にわたって修学目的の再確認や学習方法及び単位認定の基準等について説明を行った。入学式後には、校長が学業継続への学校と家庭の連携協力の重要性を保護者へ説明している。
2	教育理念・教育目的は、学生にとって学修の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか	3	
3	養成する看護師等の質を保証するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えようとしているかを述べているか	3	
4	看護、看護学教育、学生観について、教師の教育活動の指針となるように明示し、実際に指針となっているか	3	
5	養成する看護師等が卒業時点においてどのような資質を有すべきかを明示し、その資質は、社会に対する看護の質を保証するのに妥当であるか	3	

カテゴリー平均：3.0 点

カテゴリーⅡ 教育目標

	評価項目	評価点	自己評価
1	教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか	3	教育理念・教育目的から本校の排出する卒業生像を描き、その姿に到達するように力を養うことを教育目標として設定している。 本校は看護基礎教育機関であり、卒業後も継続して学習する姿勢を身につけてもらいたいという願いも目標に設定した。
2	教育目標は、設定した教育内容を網羅し、かつ、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとして示しているか	3	
3	教育目標において、目標内容と到達レベルが対応し、具体的で実現可能な目標として明示しているか	3	
4	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定しているか	3	
5	卒業後の継続教育の考え方を示したうえで、看護基礎教育として教育目標を設定しているか	3	

カテゴリー平均：3.0 点

カテゴリーⅢ 教育課程経営

	評価項目	評価点	自己評価
1	教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解した上で、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか	3	第5次カリキュラム改正の検討会議の中で、専任教員は現行の教育課程への理解を深めた。R4年度入学生より新カリキュラムの適用となったため、非常勤講師にはカリキュラムの概要を伝えて講義を依頼している。(資料4) 本校は、3年課程養成所であり、看護の実践者を育成することを特徴としている。そのため、看護実践に必要な知識・技術・態度を学べるように各科目で工夫を行っている。 単位履修の方法は、学生便覧に明記しており、入学時オリエンテーションで学生に説明している他、適宜ホームルーム等で説明している。 本校はH7年に医療専門課程として認可されており、大学等への単位互換が可能な体制が整っている。 教育課程の評価については、今年度すべての学年が新カリ適用となったため、現在評価を進めている。 専任教員の担当授業時間数は、教員経験年数や担当学年の状況に合わせて、年間90～110時間程度に調整している。(資料4) 教員間の授業評価を実施している。全教員が被評価者となり、他教員の評価・助言を受け、授業技術向上に努めている。 実習施設へは、「看護実践者の養成」という本校の理念を伝え、ご理解いただき可能な範囲で現場での学習をさせていただけるよう努力をしている。(資料5) H30年より外部実習施設との実習指導委託契約の際に、本校の教育理念・教育目的・教育目標や実習指導要領の提示などを行っている。各施設に新カリキュラムの内容等を周知し、ご理解いただいている実感が持っている。
2	看護学の内容は、求める学修の到達および学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成しているか	3	
3	科目と単元の構成にあたって、明確な考えと根拠があり、その考え方は教育理念・教育目的、教育目標との整合性があるか	3	
4	構成された科目と単元は看護師等を要請するのに妥当であり、かつ養成所の特徴を表しているか	3	
5	単位履修の方法とその制約について、教師、学生の双方が分かるように明示し、その方法は学生の単位履修の支援となっているか	3	
6	単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように科目の配列をしているか	3	
7	単位認定の基準及び方法は、看護師等に必要な学修を認めるものとして十分に根拠があり、また、妥当であるか	3	
8	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか	3	
9	教育課程を評価する体系が整っており、また、結果の活用における倫理規定が明確になっているか	3	
10	教員の担当科目と担当授業数は、専門性を発揮できるように配分し、かつ、授業の準備をする時間がとれる体制を整えているか	3	
11	教育課程の実践者である教員が、自ら成長できるための自己研鑽、相互研鑽のシステムを整えているか	3	
12	臨地実習施設は、各看護師等養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	3	
13	臨地実習における学生の学びの質を保証するために、臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えて	3	

	いるか		市民病院とは年3回指導者連絡会を行い、協働体制を整えている。
14	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示し、学生への指導を計画的に行っているか	3	1 年次に基礎看護援助論Ⅳで医療安全担当看護師から講義を受けているほか、実習オリエンテーションで安全に関する学習を行っている。また、実習中にインシデント等が発生した場合は当該学生と振り返りを行い、その結果を学生にフィードバックしている。
15	臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的に行っているか	3	

カテゴリー平均：3.0 点

カテゴリーⅣ 教授・学習・評価過程

	評価項目	評価点	自己評価
1	当該授業の内容は、教育課程との関係において当該学生のための授業内容として設定しているか	3	授業の目的に沿って授業科目の内容を精選しており、シラバスに明記している。シラバスは、年1回見直しを行っており、内容間の整合性や発展性を検討している。
2	授業内容に応じた授業形態（講義、演習、実験、実習）を選択しているか	2.8	
3	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	2.2	
4	当該授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	2.4	2～8 は全教員による個人評価を基に算出した。
5	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制が明確になっているか	2.4	
6	評価計画を立案、実施し、評価結果に基づいて実際に授業を改善しているか	2.4	
7	学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れ、目標の達成状況を明確に捉えているか	2.4	学生が主体的に学べるように、考える機会を設けたりアウトプットされた内容を適宜フィードバックしたりするなど多様な方法で学生の理解の深化に努めている。技術演習等の授業は、学生個々に丁寧に指導するため、複数の教員が協力して運営している。
8	評価の方法について、特に単位認定のための評価については、学生に公表（認定基準等）し、公平性があるか	2.8	
9	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性をもち、学生の学習への動機づけや支援になっているか	3	

カテゴリー平均：2.6 点

カテゴリーⅤ 経営・管理過程

	評価項目	評価点	自己評価
1	養成所の設置、教育理念・教育目的、教育課程経営、教育評価、および養成所の管理	3	本校の設置主体は富山市であり、富山市の

	運営に関する管理者の考え方について、設置者の意思との一貫性をもって明示し、かつ、教職員はそれを理解しているか		条例に従い、学則、学則細則や各種規程を設定している。
2	組織体制は養成所の教育理念・教育目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確であり、かつ組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるように整えているか	3	本校の組織体制は、富山市の行政組織規程や校務分掌で役割機能を明確にしている。富山市による業績評価を年 2 回実施しており、その結果をもとに、各教職員が資質向上への努力目標を設定している。
3	組織の構成と教職員の任用、および、教職員の資質の向上についての考え方と対策は、教育理念・教育目的を達成するために整合性をもってしているか	3	本校は授業料等の特定財源及び富山市の一般財源によって運営しており、教育に必要な備品等は計画的に整備できるよう予算要求を行っている。
4	養成所の財政基盤をどのように確保するかについて明確な考え方をもち、学習・教育の質の維持・向上につながるようになっているか	3	R7.3.1 現在の在籍数は 115 名である。入学金 27,000 円、授業料：月額 13,000 円となっている。来年度は卒業延期者のみ授業料：10,000 円となる。
5	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解し、それぞれの観点から財政についての意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか	3	本校は移転から 18 年が経過し、経年劣化している箇所が複数存在するが、修繕計画に従い修繕を行っている。来年度は全館 LED 化工事を行う予定となっている。
6	学習・教育環境について、管理者としてどのような考え方をもち整備しようとしているかを示し、その考え方に基いて整備計画を立案し、実施しているか	3	今年度から電子テキストを導入し、よりデジタル教材を活用した教育活動を行っている。
7	看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備し、また、医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、整備・改善しているか	3	本校所有の備品等は、年 1 回点検・整備を行っている。 本校は各学年に 2 名のアドバイザーを配置しており、スクールカウンセリングも月 1 回実施している。カウンセリングはほぼ毎月利用されている。
8	学生および教職員にとっての福利厚生の施設設備は、養成所が設置されている地域環境との関連から検討し、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備しているか	3	学校ホームページで、学生、保護者、地域住民、受験生など多様な方への情報提供を行っている。
9	学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的にかつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか	3	インスタグラムも開設し、学習活動や学生生活の様子を配信している。今年度は 22 件投稿した。フォロワー数は 276 人 (R7.2.12)。
10	教育・学習活動に関する関係者(保護者等)への情報提供を行うことによって、その協力・支援を得ているか	3	本校は 3 年課程看護師養成所としての責務を果たすため、学校運営計画を立案している。教員の継続的な確保や臨床での教育活動の充実のため、市民病院との連携を強化するよう努めている。
11	広報活動は、看護師等を養成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか	3	

12	養成所の運営においては明確な将来構想のもとに運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案し、その実施・評価は将来構想との整合性をもっているか	3	将来的な学校運営を見据え、高等教育修学支援新制度導入や授業料改定等を行い、昨年度より適用を開始した。 R3 年度よりホームページ上にアドミッションポリシーとディプロマポリシーを掲載している。 R3 年度より学校関係者評価を導入し、学校運営評価を多角的視野で行っている。評価結果は教職員で共有し、維持・改善に努めている。
13	自己点検・自己評価の意味と目的を理解し、実際に自己点検・評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	3	
14	養成所の自己点検・自己評価体制を整え、運用し、その機能は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、養成所の教育理念・教育目的、教育目標を維持・改善するものとなっているか	3	

カテゴリー平均：3.0 点

カテゴリーⅥ 入学

	評価項目	評価点	自己評価
1	教育理念・教育目的との一貫性から入学者選抜についての考え方を述べているか	3	アドミッションポリシーを明示し、入学生を募集している。R2 年に選抜方法を協議し、現行継続となった。 本校の求める学生像を基準に入学者選抜の方法や時期、評価等について現在検討を重ねている。来年度以降、検討した内容を一部運用する予定である。
2	入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか	3	

カテゴリー平均：3.0 点

カテゴリーⅦ 卒業・就業・進学

	評価項目	評価点	自己評価
1	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、それを計画的に行っているか	3	卒業時の看護実践能力を 5 段階で評価している。今年度の平均：4.3（資料 6） 社会人基礎力や看護技術経験レベルについては、1 年次より継続的に状況を把握している。 毎年卒業生の就業状況調査（県内）を実施している。（資料 7） 進路指導に活用している他、新人看護師に求められている主体的に学習する力や考え抜く力を強化するため、科目設定や授業内容の検討に活用した。
2	卒業生の到達状況、就業・進学状況を分析した結果は、教育理念・教育目標と整合性があるか	3	
3	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にし、教育を改善するために、就業先との情報交換や調査の実施等を改善するために、就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えているか	3	
4	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念・教育目標、授業の展開に活用しているか	3	

カテゴリー平均：3.0 点

カテゴリーⅧ 地域社会／国際交流

	評価項目	評価点	自己評価
1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか	3	直近 5 年間の富山市内の医療施設への就職率の平均は 58.8%と高く、本校の使命を果たしている。(資料 1, 3) R3 年度よりホームページ、Instagram 等で学校の情報を発信している。 地域・在宅看護論実習Ⅰでは、生活者としての対象理解のための実習を行った。 1 年生の技術試験で、模擬患者ボランティア 7 名に協力をいただいた。 インターネットによる情報検索や語学や留学等の図書を積極的購入により、学生が閲覧可能な環境を整備している。 R1 年に帰国学生の受験が可能な体制を整えているが、実際に入学する場合は、教員増員等の体制整備に課題がある。 これまで、ドイツでの就業手続きやオーストラリアでの修学支援(証明書発行)を行った。今年度の対応事例はなかった。
2	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	3	
3	地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	3	
4	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	3	
5	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	3	
6	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制があるか	2	
7	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制があるか	3	

カテゴリー平均：2.8 点

カテゴリーⅨ 研究

	評価項目	評価点	自己評価
1	教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)しているか	3	H25 より毎年教員による看護研究を行っている。 今年度は日本看護学会 学術集会で示説発表を 1 題行った。同学会論文集へも 1 題エントリーしている。 今後も継続的に研究を実施していけるよう、研究に関する研修会への参加の推奨等、支援を行っている。
2	教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか	3	
3	研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援しあう文化的素地が養成所にあるか	3	

カテゴリー平均：3.0 点